

(1)

【解答】② have I seen so beautiful a

【解説】

空所の直前の Never から文が始まっていることが分かる。否定副詞を文頭に置くと、倒置が起こるので、解答の候補は、疑問文の形になっている① have I seen so a beautiful と② have I seen so beautiful a に絞り込める。その違いは、so 以降の語順だが、副詞の so と不定冠詞を組み合わせると、so + 形容詞 + a(n) + 名詞の語順になるので、② have I seen so beautiful a が正解。ちなみに、so の代わりに as も使えるが、そうすると、原級構文 (as ~ as ...) だということが明確に分かる。as の代わりに so が使われているのは、否定文だからである。原則として、原級構文の (1つ目の) as を so にできるのは、否定的な文においてだけである。また、(not) so ~ as ... の場合だけでなく、as ~ as ... の場合でも、as beautiful a view as と語順が変わるので、注意したい。as には、前置詞の用法もあるため、前置詞と勘違いして、× as a beautiful view as の語順にしてしまいがちだが、原級構文の 1つ目の as は、前置詞ではなく、副詞になるのがポイントである。設問文の訳は「こんなに美しい景色を私は見たことがない」となる。

(2)

【解答】③ was it that

【解説】

選択肢を見れば、使われている単語はいずれも同じなので、語順の問題だと分かる。そして、空所の直前が Who になっており、文末に ? があることから、全体は疑問文になっていることが分かる。さらに、① it was that より、強調構文が使われていると推測できる。このとき、初めから疑問文の形で考えるよりも、いったん基本的な形 (平叙文) に戻して考えるとわかりやすい。ここでは、文頭の Who が強調されているのだが、平叙文の語順にすると、It was who that was arrested yesterday. となる。これを疑問文化するために主語 It と be 動詞 was を入れ替えると、Was it who that was arrested yesterday? となるが、疑問詞は、疑問文の一番前に来るので、Who was it that was arrested yesterday? となる。結局、③ was it that が正解。このように、疑問文の形のまま考えるよりも、基本的な形から出発する方が往々にして取り組みやすい。また、強調構文は、この問題のように、疑問文や相関表現と組み合わせられて出題されることが多い。設問文の訳は「きのう逮捕されたのはいったい誰だった？」となる。

(3)

【解答】② due in part to

【解説】

to の有無の違いはあるにしろ、この問題も基本的には語順の問題である。in part 「部分的には」と due to ~ 「～のために」を組み合わせた時の語順が問われているが、選択肢に in part due to はない。to が抜け落ちている① due in part と④ in part due は、答えにならない。due to の間に in part を挿入できるので、② due in part to が正解。③ in due part to も、due to が分割されている点では②と同様であるが、こちらは in part まで分割されてしまい、この部分が意味をなさなくなってしまうため不可。設問文の訳は「その事故は悪天候が一つの原因であった」となる。

(4)

【解答】③ Most

【解説】

選択肢を見れば、almost と most の使い分け問題だと分かる。almost は、副詞で、of を繋げることも students という名詞を修飾することもできないので、① Almost と② Almost of は解答の候補から除外できる。残るは、③ Most (形容詞) か、④ Most of (不定代名詞 + of) かの判断となる。④ Most of として most を不定代名詞で使う場合は、most of the students などと、of の後に、the や所有格や these などの限定詞が必要だが、空所の直後にはそれがなく、students と名詞がすぐに続いている。よって、形容詞の③ Most が正解。設問文の訳は「ほとんどの生徒が週3回クラブ活動に参加している」となる。

(5)

【解答】④ is

【解説】

選択肢を見れば、主語と動詞の対応の問題だと分かる。この文の主語は、peopleではなく、The number になるので、単数扱いになり、④ is が正解。ちなみに、the number of ～「～の数」と形が似ている a number of ～は、「たくさんの～」という意味で、主語の位置に来た時は、基本的に複数扱いになる。分かりにくければ、number を lot に言い換えるとよい。設問文の訳は「新規事業を始める人が増えている」となる。